2023　ボランティア体験プログラム in 東大阪

「ボランティアをやってみたい！」「有意義な時間を過ごしたい！」「何かやりたい！」と思っている方・・・
ボランティア体験してみませんか？高齢者や障害者、子どもたちとの出会いや、福祉現場で働く職員、市内の福祉団体などとの出会いが、あなたにとって特別な体験になるかもしれません。

●体験期間　　２０２３年7月1日（土）～ 9月３０日（土）
※施設によって受入期間が異なりますので、一覧にてご確認ください。
※原則として、同一施設における活動は、１日～３日程度としています。
※継続的な活動を希望される方は、ご相談ください。

●参加対象　　小学生から社会人、高齢者まで、ボランティアに関心・興味のある方
※プログラムにより、参加対象が異なります。
※資格取得のための実習、学校の課題としての参加はご遠慮ください。
※高校生以下の方は、保護者の同意が必要です。
※身分証明書をご提示いただく場合がございますので、ご了承ください。

●申込期間　　２０２３年6月下旬～9月２２日（金）
※活動を希望される日の１０日前までにお申し込みください。（調整に少し時間が要ります）
※各プログラムには受入可能人数があり、申し込み先着順とさせていただいております。

●申込方法　　ボランティア・市民活動センターまで、持参　または　郵送、ＦＡＸ
※「参加申込書」（最後のページ）に必要事項を記入のうえ、ご提出ください。
※後日、決定通知書を郵送またはＦＡＸにてお送りいたします。
※参加申込書は、東大阪市社会福祉協議会ＨＰよりダウンロードできます。

http://www.heartnet-hoshakyo.org/

●申込締切　　9月２２日（金）※必着

●申込・問合先　東大阪市社会福祉協議会　ボランティア・市民活動センター（担当：西原）
〒５７７－００５４　東大阪市高井田元町１－２－１３
（近鉄奈良線「河内永和駅」orＪＲおおさか東線「河内永和駅」下車、北へ徒歩２分）
ＴＥＬ：０６－６７８９－５５５０　ＦＡＸ：０６－６７８９－２９２４
開　館：平日　８時４５分～１７時１５分、第２土曜日　８時４５分～１７時１５分

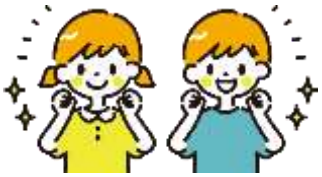
プログラム　メニュー

※複数のコースに申し込むことができます

コースⅠ　施設等ボランティア体験

社会福祉施設で、利用者の方とお話したり、イベントのお手伝い等のボランティア活動を通して、地域にある福祉施設を「知る」ことから始めてみませんか？

期　間：７月１日（土）～９月３０日（土）
場　所：掲載施設からお選びください。
定　員：施設によって異なります。（申込締切：９月２２日（金））



コースⅡ　子どもも大人も福祉教育１日体験教室

Ⅱ－①　手話体験教室

手話をもっと身近に！聴覚障害者の方と一緒に手話で遊びましょう♪

日　時：８月９日（水）１３時３０分～１６時
場　所：東大阪市立多目的センター　３階　中会議室２　（高井田元町 1－2－13）
定　員：１０名　　申込締切：８月７日（月）

Ⅱ－②　車いす体験教室

車いすの正しい取扱方法をご存じですか？
街中で見かけることはあっても意外と知らないことが多いかも？

日　時：８月23日（水）１３時３０分～１６時
場　所：東大阪市社会福祉協議会　１階　（高井田元町 1－2－13）
定　員：１０名　　申込締切：８月21日（月）

体験してみると、
きっと新しい発見
があるはず！！

ボランティア体験プログラムに参加されるあなたへ

楽しいボランティア体験のためのお願い

プログラムを申し込む前に・・・

① 自分の気持ちを確認する

ボランティア体験を有意義に行うためには、自分の気持ちを確認することが出発点です。不安があるのは当然ですが、「こんな体験をしたい」「こんなことが楽しみ」というような「積極的な動機」を自分の中で確認しておくことが大切です。

② 不安なことや心配なことは相談する

体験に関する不安なこと、心配なことは、ボランティア・市民活動センターに相談しましょう。

ボランティア体験が始まったら・・・

① 利用者の生活を尊重する

施設は利用者の生活の場であり、活動の場です。利用者の生活が最優先となります。相手の立場に立って考えることが大切です。利用者の自立を損なうような過剰な関わりをしない様に注意してください。

② 利用者のプライバシーを守る

体験で知り得た個人情報は絶対に外に漏らしてはいけません。

③ マナーを守る

施設はたくさんの人が利用する場所です。いったん施設に入ると、学生でも社会人としてみられます。遅刻や無断欠席のないよう注意しましょう。また、施設内には身体的に虚弱な方もいますので、衛生面・健康面には特に注意をしてください。

④ 職員の指示を守る

体験の内容は施設や団体によって異なります。それぞれの取り組みの方針や、利用者への支援内容や目的も個々に違います。職員の指示は必ず守ってください。しかし、指示を待っていたのでは思ったような体験ができないこともあります。自身がやりたいことや希望などは事前に伝えましょう。

また、出来ないこと、知らないことは、はっきり伝えて、必ず教わったうえで体験してください。

施設内の機器など、勝手に触ると事故の原因になりますので気をつけましょう。

⑤ 「関係づくり」を大切にする

体験先で出会う人たちとの「関係づくり」は、ボランティア体験においてとても大切な要素です。自分から積極的に話しかけてみましょう。

⑥ 施設の職員から話を聞く

自分から積極的に質問し、視野を広げることで福祉に関する認識や、福祉の仕事への理解も深まります。

⑦ 自分の「気づき」を大切にする

ボランティア体験では、心に余裕を持ち、感受性豊かに自分で「感じる」、「気づく」ことが大切です。想像とは違った点をもとに、自分の「価値観」について気づきを深めてください。

⑧ 受入先の施設や団体への感謝の気持ちを忘れない

ボランティアを受け入れる職員は、日々の業務が多忙な中、できるだけ充実した有意義な体験をしてもらえるよう準備されています。感謝の気持ちをもって体験してください。

体験が終わったら・・・

① 体験を振り返る

自分の体験内容や体験中に感じたことを家族や友人に話したり、記録にまとめてみましょう。友人と体験を一緒に振り返り、感じたことについて意見を出し合うことで、新たな気づきや刺激があるはずです。自分の体験を言葉や文字にすることで、福祉に対する認識や考え方が深まり、自分自身のことも気づかせてくれるはずです。

② 他の活動もやってみる

あなたはこの体験でどんなことが楽しかったですか？これからどんなことをやっていきたいと思いますか？この体験を原動力に、他の活動にもチャレンジしてみませんか？この冊子では、随時ボランティア募集している施設等についても情報を掲載しておりますので、一度、ボランティア・市民活動センターまでご相談ください。あなたの「やりたい！」気持ちを応援します。

★ボランティアを行うときのチェックポイント★

□挨拶、返事はきちんと行う。
□健康管理に気をつける。（うがい・手洗いを忘れずに。体調の悪いときは早めに相談すること。）
□携帯電話の電源は必ず切っておく。
□ボランティア体験に必要のないものや貴重品は持って行かない。
□服装は、ノースリーブやミニスカート等の身体露出のあるものは禁止。
　サンダルや草履も適しません。暑い季節なので、帽子やタオル、飲み物は必須です。
□身だしなみは清潔で相手に好感をもたれるよう気をつける。
（アクセサリーは禁止。無精髭や過度の化粧、香水、爪などに気をつける。）

プログラム中の事故対応

体験プログラムに参加される方は、ボランティア活動保険に加入します。（東大阪市社会福祉協議会が保険料を負担します。）プログラム中に事故があった場合は、まず施設の担当者に連絡し、その後、必ず東大阪市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター（０６－６７８９－５５５０）までご連絡ください。ボランティア活動保険で、参加者の自宅から活動場所の往復及びプログラム中の事故を保障します。

申し込みから体験の流れ

1 参加したいプログラムを選ぶ。

2 **申し込む**

参加申込書をコピーし、必要事項を記入のうえ、ボランティア・市民活動センターまで持参または郵送、ＦＡＸにてお申し込みください。
※活動を希望される日の１０日前までにお申し込みください。（調整に少し時間が要ります）
※各プログラムには受入可能人数があり、先着順とさせていただいております。定員になり次第、募集は締め切りますので、お早めにお申し込みください。
※電話にて連絡させて頂くことがあります。高校生など日中連絡出来ない方に関しましては、ご家族の方に伝言等お願いすることもございます。予め、ご了承ください。

3 **「決定通知」を受け取る**

ボランティア・市民活動センターから「決定通知」が郵送またはＦＡＸにて送られてきます。
※体験後にご提出いただくアンケートも同封しております。ご協力よろしくお願い致します。

4 **体験先の担当者へ事前連絡**

できるだけ早いうちに、「決定通知」に記載された体験先の担当者に電話連絡をしてください。
※確認事項：体験の日程、時間、服装、交通機関、持参物、事前オリエンテーションの日時と場所、体験の内容　など

5 **事前下調べ・事前準備**

体験する施設等について、インターネット等で調べておきましょう。また、「ボランティア」についても調べておくと、より有意義なボランティア体験となるでしょう。

6 **事前オリエンテーション**

事前にオリエンテーションがある体験先の場合は、当日の具体的な体験内容や、施設のことなど、担当者から直接聞いておきましょう。

体験当日

7 **アンケート提出**

記入したアンケートは、ボランティア・市民活動センターまでご提出ください。
アンケート内容は、今後のボランティア・市民活動センター事業の参考にさせていただきます。

略 語 説 明

●施設種別

高齢者

デイサービス・・・・・・利用者の自宅から施設間の送迎があり、日中レクリエーションや入浴・食事をして１日を過ごします

特別養護老人ホーム・・・原則として、「要介護３以上」の方で 24 時間にわたって、介護サービスを受けられます

介護老人保健施設・・・・在宅への復帰を目標に心身の機能回復訓練をする施設です

そ　の　他・・・・・・・有料老人ホーム　グループホーム ケアハウス　など

障害者・児

身・・・身体障害の方が利用する施設　　知・・・知的障害の方が利用する施設

精・・・精神障害の方が利用する施設

その他

救護施設・・・体や精神に障害があり、経済的な問題を含めて日常生活をおくるのが困難な方に、健康で安心して生活していただくための施設です

●募集対象者

小・・・小学生　中・・・中学生　高・・・高校生　専・・・専門学生

大・・・大学生　社・・・社会人

●その他条件

小学生向け・・・小学生向け体験プログラム

親子歓迎・・・親子での参加大歓迎

課題不可・・・学校の課題などによる参加は不可

ｸﾞﾙｰﾌﾟ歓迎・・・グループでの参加大歓迎

要ｵﾘｴﾝ・・・体験前に事前オリエンテーションの参加が必要

要検便・・・検便検査をうけて結果の提出が必要